

学校運営協議会 議事録

校名	府立八尾北高等学校
校長名	岡本 泰弘

開催日時	令和 3年 6月 30日(水) 14 : 00 ~ 15 : 30
開催場所	大阪府立八尾北高等学校 西館1階 会議室
出席者(委員)	岡田耕治会長 ・ 村上自子副会長 ・ 土橋恵子委員 ・ 高松一仁委員
出席者(学校)	校長・事務長・教頭・首席・各分掌長・各学年主任・各主担・初任者 合計16名
傍聴者	なし
協議資料	学校運営協議会実施要項、卒業生の進路状況と今年度の進路希望状況、基本データ、令和3年度学校経営計画、令和3年度分掌・学年重点目標、令和3年度行事予定表
備考	

議題等(次第順)
<ol style="list-style-type: none"> 1. 校長挨拶 2. 委員紹介、出席者紹介 3. 事務局からの説明 4. 協議 5. 報告 <ol style="list-style-type: none"> (1) 卒業生(36期)の進路状況 (2) 基本データについて (3) 令和3年度学校経営計画・教育計画について (4) 令和3年度分掌・学年重点目標 (5) 当面の行事について (6) 本年度の生徒の様子について 6. 連絡
協議内容・承認事項等(意見の概要)

1. コロナによる行事日程の変更
2. 委員6名中4名の入れ替わりを報告
3. 本日の時程、配布資料の説明
4. 学校運営協議会会長・副会長の承認 [会長:岡田様、副会長:村上様]
学校運営協議会実施要項の確認
5. (1)①36期の就職に関してはははコロナ禍により例年より厳しい状況であった。全国平均は上回っている。
②37期は大学進学希望者が多い。
- (2)中途退学・転学・懲戒の人数が減少している。
⇒コロナウイルスの影響により、出席停止扱いになったためと思われる。
- (3)「クラブ活動を活性化する」という項目について今年はクラブ体験二日目が中止となっている現状あり。
- (4)①学習指導:達成基準についての説明
②生活指導:遅刻指導は学年一斉の指導から指導対象となった生徒を個別指導している。
スカート丈について令和3年度1学年より基準を設けた。
- ③保健担当:達成基準についての説明
- ④自主活動育成担当:コロナウイルスと折り合いをつけながら、活動を行う。
- ⑤ガイダンス部:自己分析・他己分析を通して自信を見つめる。
大学や企業に入るのがゴールではなく、そこがスタートという意識付けをさせる。
- ⑥人権教育担当:昨年は人権教育についてのイベントが多く中止になっているので、
今年はコロナウイルスの動向を注視しながら実施していきたい。
- ⑦1学年:「主体的に社会に参画」という項目を特に重点的にする。課題として「規範意識の低さ」がある。
⇒教員による徹底的な指導が必要である。
- ⑧2学年:オアシスを含めた多様な生徒がいる。昨年は入学式から行事がほとんどできていない。
修学旅行は実施予定。
- Q1:地域との連携は多くあるが、この学校だからできる多文化共生の取り組みは何かあるか。
A1:ボランティア活動などの計画はしていたがコロナウイルスの影響により、ほとんどできなかった。
A2:コロナで様々な行事・イベントができなかった。その中で中国舞踊について行うことができた。
今年度の計画は例年同様にしていく。
- (5)当面の行事について
 - ・体育祭はアリーナで行う。「できないよりできる」の考え方で活動を行う。
 - ・生徒会や団長が中心になってコロナ対策(お昼の放送)に当たっている。
 - ・昨年は身だしなみの違反者が多かったため、今年度は生徒会で身だしなみの基準を設けた。
- (6)①1学年
 - ・スローガンは「素敵な大人に」→卒業後の姿を意識させる。
 - ・長期欠席者が増えてきた。
 - ・スカート丈の長さを明確化した。
- ②2学年
 - ・去年は行事がほぼできなかった。そのため、今年は行事をより意識している。
 - ・修学旅行はコロナウイルスの動向を予測して年明けに変更する。
⇒行き先、日程は2学期までに決めて保護者にも伝える。
- ③3学年
 - ・楽な進路に逃げないように指導
 - ・進路が決定すると学校に来ない生徒が増えるので注意する。
- ④オアシス
 - ・3学年で計39名が在籍しており、そのうち8割が中国ルーツである。
 - ・コロナの影響により学習習慣が身につけていない
⇒教育サポーターや卒業生などの外部と連携する。
- (7)連絡
 - ・次回の学校運営協議会は11月11日(木)の予定

次回の会議日程

日時	令和3年11月11日(木)15:30～
会場	大阪府立八尾北高等学校 西館1階 会議室